

# 附錄

## 學事ノ狀況

### 總 說

大正八年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ヲ叙述ズレ小学校ニ在リテハ從來ノ如ク就學及出席ノ督勵ニカメ以テ教育ノ普及徹底ヲ期シ且理化實驗ハ前年ノ計畫ヲ繼襲シテ設備ヲ完成シ兒童實驗用具ヲ購入シ教授ニ便ナラシム又體操講習會ヲ各郡ニ數回開會シ縣指導員ヲシテ新式ノ體操ヲ教授セシメテ大ニ體操科ノ面目ヲ一新セリ實業補習教育ニ在リテハ一郡數校各專任ノ教員ヲ置キ以テ其ノ發達ニ努メタリ師範其ノ他ノ中等教育ニ在リテモ益々改善充實ヲ圖リタル前年度末期ニ於テ中學校ノ火災ニ罹リタルモノ公立私立各一校アリ火災警マシムルコト嚴チリシニ拘フ本年度ニ及ヒ師範學校亦出火シ校舍器具器械標本圖書等灰燼ニ歸シタルモノ渺ナカラサリシテ遺憾トス又社會教育ニ在リテハ初テ主事ヲ置キ縣下青年團處女會ノ普及發達及巡回文庫通俗博物館通俗講演會等ノ指導獎勵ヲ爲シタリ。

### 學齡兒童

學齡兒童ノ總數ハ男六萬八百二十六人女五萬七千百七十五人ニシテ其ノ内就學ノ始期ニ達シタル者男五萬二千八百二十六人女四萬九千五百五十八人ナリ即ち就學ノ歩合ハ男九十九人四分八厘女九十九人四厘平均九十九人二分六厘ニシテ前年ニ比シ男一厘女一分五厘平均七厘ニ増シタリ兒童就學ニ關シテハ法令ニ依リ之ヲ督責シ或ハ教育會學齡兒童保護會等ノ事業トシテ貧窮兒童ニ對シ食費若ハ學用品ヲ給與貸與シタルモノアリ又本縣教育資金中ヨリ金員ヲ交附シテ補助獎勵セリ。

### 小學校

學校設置廢止並設備 學校ハ尋常百二十三尋常高等百五十八高等ニシテ外ニ分教場百二十二アリ之ヲ前年ニ比スル三尋常七 分教場ニテ減シ尋常高等五ヲ增シタリ設備ニ於テハ各學校殆ド完成シ教授管理支障ヲ見ス

學級 寻常千仄百二十三 高等二百三十八ニシテ前年ニ比シ尋常二十六 高等十ナ增シタリ

二部教授 校舍營繕ノ爲一時二部教授ヲ爲シタルモノアリ補習科及加設科目 高等補習ヲ置クモノハ一校アリ又加設科目ヲ課スル學校ハ尋常百二十八 分教場五十九 高等百五十九アリ

授業料 寻常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノ福井市八校敦賀町三校アルミナルモ高等小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルモノ百四十三校アリ

教員 本科正教員ハ男千二百四十三人女四百五十三人計千六百九十六人ニシテ學級數ニ千六十一ニ比スルトキハ三百六十五人ノ不足ナリ是ハ准教員代用教員ヲ以テ補充シ居レリ俸給 教員俸給ハ前年來國庫費交附ニ依リ何レモ増俸ヲ行ヒタルヨトハ前年記述シタル所ニシテ本年度ニ於テモ幾分ノ増俸

ヲ爲シ且臨時手當ヲ下級者ニ在リテハ七割全部ヲ通シテ平均五割ヲ給與シタリ

本科正教員 勤續年數ハ三十年以上十人二十五年以上二十七人二十年以上五十六人十五年以上百八十人十年以上三百十一人五年以上四百十八人ナリ

### 幼稚園

幼稚園ハ市立一町立一私立十二シテ前年ニ比シ私立三ヲ增シタリ市立順化幼稚園ハ福井市立順化尋常小學校内ニ 町立小濱幼稚園ハ遠敷郡小濱町ノ寺院内ニ設ケタル其ノ他私立十幼稚園モ亦寺院境内又ハ基督敎會内等ニ在リテ設備概ジテ完全ナリ教科目ハ遊戲唱歌談話手技恩物等ニシテ植物鋼工泥工細工ヲ加フルモノアリ

### 盲啞學校

私立大和田聾啞學校ハ大正四年三月吉田郡東藤島村大和田ノ眞宗僧侶廣岡善壽ナル者創立シタル所ニシテ大正九年二月ヨリ福井市日出下町三十二番地ニ移轉シ福井聾啞學校改稱シ生徒十三人ニ有スルガ設備等未タ完全セス學校維持方法トシテハ設立者ニ於テ貢脩シ多少篤志ノ寄附金及補助金ニ待ツノ状況ナリ生徒失官ノ原因ハ皆先天的ナリ

福井訓盲學舎ハ私立福井縣教育會カ盲人教育ノ爲施設スル所ニシテ日本赤十字社福井支部ノ一棟ヲ借受ク點字按摩マツサージ鍼灸衛生修身國語算術歴史地理理科體操ヲ授業ス修業年限四年ナリ本年モ亦卒業者ヲ出サス生徒失官ノ原因ヲ揭グレハ次ノ如シ

	男	女		男	女
營養不良	6	—	鐵	1	—
痲痺	3	—	浴	—	1
先天梅毒	1	2	火傷	1	—
火藥外傷	1	—	鐵	—	1
			トラウム	1	—
			先天的失明	—	1
			失聰	—	1

### 福井縣師範學校

學校ノ設備 託地一萬三千三百二十五坪七合五勺建家三千百八十二坪三合九勺農業實習地ニ通スル橋梁一箇所十五坪二合ヲ有シ外ニ農業實習用借地(民地)田二百八十六步畠千六百五十二步樹栽用借地(本縣模範林)一萬八千坪アリ治ト遺憾ナキ設備ナリシカ本年十月不幸ニシテ數回ノ火災ニ罹リ建家千四百八十一坪七合五勺ヲ燒失シタル爲一時教授管理兩ツナガラ大支障ヲ見タルモ本學年度ニ於テ假設ノ生徒控所七十坪食堂五十坪廊下百五十坪五合ヲ新營シ漸次復舊ニ勉ムルヲ以テ辛フシテ教授管理ヲ全フルヲ得タリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別有資格教員ハ總ニ二十五人ニシテ男專任二十二人專任三人ナリ今教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ掲クレハ次ノ如シ

東京高等師範學校修身教育專修科卒業	1人
地理歷史專修科卒業	1人
本科博物部卒業	1人
本科地理歷史部卒業	1人
國語漢文專修科卒業	1人
本科物理化學部卒業	1人
本科英語部卒業	1人
文科第二部卒業	1人
理科第一部卒業	1人
體操專修科卒業	1人
廣島高等師範學校理科第三部卒業	1人
東京美術學校圖畫師範科卒業	1人
國學院師範部國語漢文科卒業	1人
東京音樂學校甲種師範科卒業	1人
日本體育會體操學校高等科卒業	1人
農業教員養成所卒業	2人
其他試驗檢定	5人

## 以上男子

東京女子高等師範學校卒業	1人
其他試驗檢定	1人
其他無試驗檢定	1人

## 以上女子

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況、財界ノ好況ニ伴ヒ各種事業ノ勃興ト各種學校ノ増設ト相待チテ到ル處教員ノ不足ヲ告げ本校モ亦多數ノ轉任者及退休職者ヲ出シ之カ補充ニ一時専心セシコトアリシモ幸ニ相當資格者ヲ得テ給ト所要ノ定員ヲ充タシ教授上別ニ差支ナ見サリキ教員勤續ノ年數ハ十五年以上者二人、十年以上者四人、五年以上者三人ニシテ本年度中轉任五人休職二人退職一人ヲ出シタリ現在教員二十五人中奏任待遇四人皆八級俸以上ニシテ他ノ判例待遇一級俸以下等差アリ舍監加俸ハ月ニ圓五十錢乃至三圓ニシテ臨時手當ハ月俸六十圓以上者ニ對シテハ五割他ハ七割ニ相當スル額ヲ給シタリ

生徒訓育、男生徒ニ對シテハ劍柔道及戶外運動、女生徒ニ對シテハ合同體操及戶外運動ヲ獎勵シ且奢侈懦弱ノ風ヲ戒メ自治共同ニ意ナカシタル等前年ニ異ナラズ又思想界ノ變調等ニ關シテハ時々講堂訓話ヲ行ヒ誨告ヲ怠ラシシカ本年度第二學期ニ於ケル本校ノ火災ニ因リ校舍寄宿金ノ大部分ヲ失ヒタルヲ以テ設備ノ不完全ニ基ケル規律風紀ノ弛緩ヲ慮リ之ヲ防止等ニ關シテハ特ニ力ヲ用ガムリ

生徒學業ノ進否 本秋罹災後設備不完全ニシテ生徒學習上不利ナリシモ極力指導シタル結果前年ニ比シ遜色ナキ成績ヲ認ムタリ生徒得點平均ヲ舉クレハ次ノ如シ

## 大正七年度 大正八年度

	男	女	男	女
本科第一部	78.3	79.5	79.8	79.5
本科第二部	78.0	79.0	77.0	80.0

生徒修學旅行 生徒各自ニ關スル費用自辨ヲ以テ旅行セシメタルコト前年ノ如クニシテ旅行ノ種類日數ヲ掲クレハ次ノ如シ

## 管外旅行

人員	旅行地	日數
第三學年 男 35	近畿地方	6
第三學年 女 30	金澤方面	3
第四學年 女 24	近畿地方	6
第四學年 男 35	東京及京阪方面	13

## 參觀旅行

第四學年 女 14	敦賀遠敷二郡	4
第二部 女 27	敦賀三方遠敷三郡	4
第四學年 女 14	同	4
第四學年 男 17	丹生郡	4
第四學年 男 17	吉田大野二郡	4
第二部 乙 20	今立丹生南條三郡	4
第二部 甲 30	足羽今立南條三郡	4

## 登山旅行

第三學年 男 60	石川縣白山	7
第二部 男 60	石川縣白山	7

## 水泳旅行

登山者以外ノ男 150	坂井郡米ヶ脇	10
-------------	--------	----

## 臨海教育

女生徒全部 170	敦賀郡杉津	9
-----------	-------	---

## 遠足旅行

近郊數里ノ所ヘ牛日若ハ一日ヲ費シテ旅行シタルコト數回ナリ

入學志願者ニ關スル狀況、逐年各種學校ノ入學志願者增加スルノ傾向アルニ反シ本校ノ入學志願者ハ漸減ノ趨勢ニシテ素質亦漸々低下スルノ虞アリ大ニ考慮ヲ要スヘキコトナリト思惟ス今最近四箇年ニ於ケル志願者ヲ觀ルニ次ノ如シ

大正五年四百二十人、大正六年四百人、大正七年四百六人

大正八年三百二十五人

入學者父兄ノ職業別 次ノ如シ

農業	工業		商業		庶業		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本科第一部	31	15	2	4	2	6	6	16	82
本科第二部	44	9	—	2	1	5	6	7	74
總 計	75	24	2	6	3	11	12	23	156

卒業者就職 本年度卒業者ハ悉ク本縣小學校教員ニ就職セリ

附屬小學校 等常科第一學年ヲ三學級ニ編成シ高等科第一第二兩學年ヲ合級ト爲セリ兒童教養教生指導等ノ狀況次ノ如シ

兒童教養 前年來ノ方針ヲ踏襲シテ教育ノ全作用ヲ統一的有機的ト爲シタル本學年中校舍燒失後ハ教室其ノ他教具等頗ル不便ヲ感シタルモ精神ノ修養ニ依リ物質的損害ヲ回復セシヨトニ努メ能力主義ヲ主トシテ教漫シ抑壓ヲ廢スルコトニ注意シ高學年ニハ自覺主義ヲ採テシメ教漫即チ訓練ノ主義ヲ以テ時代ノ思潮ニ鑑ミ人格ノ尊重ヲ旨ドシ自律愛他ヲ

高潮シ毎週一回ノ講堂訓話ハ之ヲ中心トシテ演繹シタル又兒童身體ノ發達ヲ測定シニ順應シタル體育ヲ行ヒ體操生

想ヲ涵養シテ自覺セル體操ヲ行ハシメタリ

教生指導 第一學期ハ第一部女生二十五人第二部生二十七人

第二學期ハ第一部男生三十六人第三學期ハ第二部甲男生三

十人乙男生二十人ヲシテ少シキハ三十時間多シハ六十時間  
平均四十時餘ノ練習ヲ爲サシメタリ指導ノ方法ハ教育ニ對  
スル理解ヲ深シ趣味ヲ涵養セシムシコトニ努メシカ學級  
數少ナクシテ一學級ニ付教生五人ニ當リタレコトアリ  
研究トシテハ校舍焼失教授方針ニ關ス此書類モ鳥有ニ歸シ  
タルヲ以テ更ニ實際ニ於テ編成中ナルニ依リ主任訓導ハ何  
レモ學科ノ全部ヲ擔任シ主事亦ニ教科ヲ擔任セリ其ノ他訓  
導ノ研究教授ヲ爲シタルコト三回ニ及ベ

職員中講習ニ出席シタルモノヲ舉ク以テ主事ノ文部省主催  
ノ修身科、訓導ノ文部省主催ノ理科、體操講習會ノ體操、  
帝國教育會主催ノ教育經濟等ニシテ尙地理研究ノ爲東京帝  
國大學、高等師範學校、天文臺、氣象臺等ニ出張シタルモ  
ノアリ

事業トシテハ陸海軍記念日等ニ於テ講話ヲ行ヒ校内運動會  
ヲ催シタルコト二回、音樂會ヲ催シタルコト一回、學藝會  
ヲ催シタルコト一回ナリ又臨海教授ヲ爲シタルコト一回遠  
足ヲ爲シタルコト一回、講和成立祝賀ノ爲行列ヲ爲シタ  
ルコト一回アリ

尙公開教授ヲ爲シタルヨト一回アリ參觀人三百人ニ上レリ  
又縣下聯合教育研究會ヲ開キタルコト一回、指導ノ爲職員  
ノ縣内ニ出張シタルモノノ主事ニ訓導三人四回三及ベ  
代用附属小學校 明治四十四年度ヨリ吉田郡圓山西村立道明尋  
常小學校(福井市接續地ニ在リ)ヲ代用附属小學校ト爲シ年々  
縣費ヲ以テ補助セリ大正八年度ニ於ケル補助額ハ四百六十圓  
ニシテ三百六十圓ヲ教員俸給二百圓其ノ他諸費ニ充テシメ  
タリ兒童教養等ニ關シテハ附屬小學校ノ方針小同シキモ尙校  
下實際ノ狀況ニ鑑ミ之ニ應シテ施設シタルモノアルヲ從來ニ  
異ナラス

講習科 本年度ニ於テハ講習科ヲ置カズ  
以上ノ外男女生徒ノ學藝會夏季休暇中ノ研究課題現役將校ノ體  
操指導等前年ノ如シ

### 中 學 校

學校ノ設備 中學校ハ縣立四校私立一校ニシテ前年ノ如クナル  
モ私立北陸中學校ハ大正八年二月縣立福井中學校ハ大正八年  
三月火災ニ罹リ主要ノ校舍櫛木鳥有ニ歸シ新築校舍竣功ナ見  
サリシ爲大ニ困難ナ感シタルガ他ノ三校ニ於テハ設備殆ト完  
成シ管理教授共ニ支障ヲ見サリギ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總  
テ八十二人ニシテ專任七十七人兼任五人アリ其ノ教員免許狀  
ヲ受得シタル事由ヲ掲クレハ次ノ如シ

	縣立中學校			私立北 陸中學 校	合計	
	福井	大野	武生	小濱		
東京帝國大學文科大 學卒業	1	2	1	1	6	
京都帝國大學文科大 學史學選科卒業	兼	1	1	1	1	
京都帝國大學文科大 學卒業	—	—	—	—	—	
東京高等師範學校卒 業	2	2	1	1	9	
廣島高等師範學校卒 業	兼	1	1	1	2	

	縣立中學校				私立北 陸中學 校	合計
	福井	大野	武生	小濱		
第一臨時教員養成所 卒業	—	—	—	—	1	1
第二臨時教員養成所 卒業	—	—	—	—	1	2
第三臨時教員養成所 卒業	—	—	—	—	1	1
私立國學院大學卒業	1	1	1	1	1	4
東京外國語學校卒業	2	1	1	1	1	3
東京美術學校卒業	1	1	1	1	1	5
神宮皇學館卒業	—	—	—	—	1	1
私立早稻田大學卒業	1	1	1	1	1	4
私立日本大學卒業	1	—	—	—	1	1
體操學校高等科卒業	—	—	—	—	1	1
武術專門學校卒業	—	—	—	—	1	1
陸軍教導團卒業	—	—	—	—	1	1
私立東洋大學卒業	—	—	—	—	1	1
私立青山學院高等科 卒業	1	—	—	—	1	2
其他試驗檢定	16	2	3	1	1	31
其他試驗檢定	—	—	—	—	1	1
計	26	10	16	13	12	77
	兼	兼	兼	兼	兼	5

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇ニ關スル狀況 全  
國ニ亘ル中等教員不足ノ影響ハ各中學校ニ波及シテ本年度內  
教員ノ轉任若ハ辭任ヤ者渺ナカラス一時補充ニ困難チ感シ  
タルモ幸ニシテ缺員長キニ亘ラサルヲ得タリ俸給ハ漸次増額  
シタルモ未タ十分ト謂フヘカラス又加俸チ給スルニ至ラス  
生徒訓育 各學校トモ學級擔任監督、風紀生等ヲ置キ指導監  
督ヲ行ヒ風紀ノ改善ニ努メ或ひ時々訓話ヲ爲シ又ハ校内外ノ  
灑掃等ヲ負擔セシムル等訓育上ノ施設略前年入知シ  
生徒學業ノ進否 次ノ如シ

	大正七年度			大正八年度				
	生徒 總數	落第 者	落第 步合	平均 得點	生徒 總數	落第 者	落第 步合	平均 得點
福井中學校	645	45	45/69	72	672	65	65/97	71
大野中學校	285	26	26/90	70	315	27	27/86	69
武生中學校	465	34	34/73	72	500	64	64/128	69
小濱中學校	307	27	27/88	69	337	18	18/53	68
北陸中學校	366	34	34/93	72	371	22	22/57	73
計	2,077	166	166/80	71	2,195	196	196/421	70

生徒修學旅行 福井中學校第五學年生ハ京都桃山奈良伊勢名古屋ニ大野中學校全學年ハ敦賀港ニ武生中學校第五學年生ハ名古屋伊勢奈良大阪神戶ニ小濱中學校第五學年生ハ奈良大阪神戶京都ニ北陸中學校第五學年生ハ伊勢奈良桃山京都ニ第二三學年生ハ敦賀港ニ修學旅行ヲ爲シタリ

入學志願者 各學校トモ募集人員ヲ超過セサルナク其ノ數ハ統計表掲タル所ノ如クニシテ小濱中學校ニ於テモ本年初テ選拔試験ヲ行ヒテ所要人員ヲ入學セシメタリ

入學者父兄ノ職業別 各年各校別ニ入學者父兄ノ職業ヲ掲クレハ次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
福井中學校第一學年	75	12	25	48	14	174

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
大野 中學 校	31	7	18	27	4	87
	1	—	2	2	—	5
	1	—	1	1	—	3
	2	—	1	—	—	3
第一學年	35	7	18	30	4	98
第二學年	65	16	31	24	6	142
第三學年	—	—	—	1	—	1
第四學年	65	17	32	25	6	145
計	263	59	107	183	34	646

教員ノ需要供給勤績轉免俸給加俸某々他待遇上ニ關スル狀況、本校モ亦他モ轉任若々退職ナル者多ク補充困難ナ告ケキリ。生徒訓育、服裝ノ一定勤勞ノ習慣、監督、運動等ニ至セマテ其ノ施設殆ド前年ノ如シ。生徒學業ノ進否、出席ヲ獎勵シテ賞状ヲ與ヘ教授ヲ改善シ教科書ノ一部ヲ變更ズル等學業ノ進歩ニ注意シタルガ上級ノ學校ニ入學スル者漸ク多く又生徒得點平均ハ八點強ニシテ前年ニ同シ。入學志願者ニ關スル狀況、入學志願者總數五百二十七人ニシテ其ノ内百九十八人ヲ入學セシメタリ。入學者父兄ノ職業別、入學者百九十八人ニシテ其ノ父兄ノ職業別ヲ舉クレハ農業六十二人、工業二十一人、商業五十一人、庶業四十四人、無職二十人ナリ。

### 大野郡立實科高等女學校

學校ノ設備、本學ノ創立以來著々其ノ實績ヲ擧ケ郡女子教育ニ貢獻スル所甚太カルモノアリ。漸次入學者ノ增加ナ見又半途退學者モ比較的僅少ナリ。校地校舍校具ノ設備ハ略完備セリト雖未タ豫期ニ達セザルヲ以テ次年度ニ於テ完成ヲ圖シントス尙本年度ニハ寄宿舍兼作法室一棟ヲ増築シタリ。

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別、有資格教員ハ專任男一人、女四大兼任男二人ニシテ次ノ如シ。

東京帝國大學文科卒業 男一人

東京女子高等師範學校技藝科第一部卒業 女一人

奈良女子高等師範學校博物家事科卒業 女一人

東京女子高等師範學校家事第一部卒業 女一人

私立女子職業學校甲部師範科學業 女一人

福井縣師範學校卒業 兼任男一人

東京美術學校圖畫師範科卒業 同男一人

教員ノ需要供給等、本校モ教員ニ更迭比較的多ク全員僅ニ七人中三人ハ在職一年未滿ナリ。

生徒訓育、常ニ質素ニシテ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養成スルニ勉メ特ニ意ヲ用エタリ。

生徒學業ノ進否、入學志願者ニ就テ多少ノ選拔ヲ加ヘテ入學セシムルニ至リシモ各生徒ノ學業不同ヲ免レサルカ裁縫科ニ於テハ教授要目ノ普通衣類ノ範圍ヲ勉テ實用的ナルモノニ止メ練習ニ重キヲ置キ成績良好ナリ。

選科、教授科目ハ裁縫ヲ主シ修身家事作文習字體操唱歌等ヲ修メシムルカ農繁時節ニ於テ缺席キハ止ムヲ得サル事ナリト雖入學者漸次增加ノ傾向アリ。

入學志願者ニ關スル狀況、入學志願者ハ七十一人ニシテ入學者六十九人ナリ。

入學者父兄ノ職業、本科入學者六十九人選科入學者十三人ニシテ其ノ父兄ノ職業別ハ次ノ如シ。

	農業	工業	商業	庶業	計
第一學年	23	2	14	9	45
	8	1	10	4	23
	1	—	—	—	1
	29	3	24	13	69
第二學年	9	1	—	3	13
第三學年	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
選科	—	—	—	—	—

私立東京裁縫學校高等師範科卒業

日本音樂學校甲種師範科卒業

試驗檢定

以上

專任女 10人

同

同

同

同

同

同

家事科第一部卒業

技藝科卒業

家事專修科卒業

地理歷史科卒業

理科第二部卒業

私立東京裁縫學校高等師範科卒業

日本音樂學校甲種師範科卒業

試驗檢定

以上

專任女 10人

## 武生町立實科高等女學校

學校ノ設備、設備漸次完成ニ近シキ教授管理共ニ遺憾ナキニ至  
レリ。

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專  
任男二人女六人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

東京帝國大學文科大學卒業

兼 男 一人

東京高等師範學校專修科卒業

男 一人

神宮皇學館卒業

男 一人

奈良女子高等師範學校卒業

女 二人

第六臨時教員養成所卒業

女 一人

私立女子職業學校高等師範科卒業

女 二人

試驗檢定

女 一人

教員ノ需要供給等、教員ノ更迭ハ他校ト同シク比較的多キアリ  
レス

生徒訓育、貞淑ノ美德ヲ涵養シ藝術ヲ練磨シ勤勞ニ堪ヘ實踐躬  
行ノ方針ヲ以テ訓育ヲ施シタルコト前年ニ同シ

生徒學業ノ進否 學科術科共ニ進歩ノ状態ナリ

入學志願者ニ關スル狀況 入學志願者ハ百四十九人アリ其  
ノ内入學アリ許シタル者僅ニ五十三人ナリ

入學父兄ノ職業別 次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
第一學年	22	1	12	7	7	49
第二學年	2	1	1	—	—	4
計	24	2	13	7	7	53

## 敦賀町立敦賀高等女學校

學校ノ設備 本校ハ從前實科高等女學校ニ類スル學校ナリシカ  
大正八年五月ヨリ文部大臣ノ認可ヲ得テ實科高等女學校ト爲  
シタルモノナレハ設備管理トモ著シキ支障ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ得タル事由別 有資格教員ハ專任男  
一人女三人ニシテ次ノ如シ

日本女子大學教育學部家政科第二部卒業 女 一人

私立和洋裁縫女學校高等教員養成所卒業 女 一人

試驗檢定 男一人女一人

教員ノ需要供給等 教員ノ需要ニ對シ供給十分ナラサルモ其ノ  
不足ハ小學校本科正教員ヲ以テ補充シ居シリ又待遇ハ相當ト  
認メラル

生徒訓育 國民道德ノ涵養ニ留意シ時勢順應ノ婦人養成ノ目的  
ヲ以テ訓育ヲ施セリ即チ學級主任教諭ヲ置キ實踐ニ關シ督勤  
ヲ爲シ毎月一回講堂ニ於テ校長ヨリ訓話ヲ爲シ又全生徒ヂシ  
テ一日ノ行程ヲ以テ管内旅行ヲ爲サシメ第四學年ニハ一泊ヲ  
以テ管外旅行ヲ爲サシメ又夏期ニ於テハ水泳練習ヲ行ヒタリ

生徒學業ノ進否 生徒ノ出席ヲ督勤シ生活ヲ本位トシテ教授シ  
實行ノ養成ニ専メタル結果成績概シテ良好ナリ

入學志願者ニ關スル狀況 入學志願者ハ第一學年四十九人第二  
學年五十五人第三學年五十一人第四學年二十八人計百八十三  
人ニシテ第一學年ハ尋常小學校卒業者第二學年以上ハ從來ノ

敦賀女學校生徒ニシテ試験ノ上入學セシメタルモノナリ

入學者父兄ノ職業別 次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	計
第一學年	—	—	27	20	49
第二學年	7	3	27	18	55
第三學年	5	3	23	20	51
第四學年	3	1	15	9	28
計	15	9	92	67	183

## 遠敷郡立小濱實科高等女學校

學校ノ設備 本校ハ從來ノ郡立小濱女子技藝學校ノ組織ヲ變更

シタルモノニシテ校地學舍トモ殆ド完備セルモ運動場其ノ他

擴張設備ヲ要スルモノ亦尠ナガラズ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專  
任男一人女四人兼任男一人ニシテ教員免許狀ヲ受得シタル事  
由次ノ如シ

國學院大學卒業 專任男 一人

女子高等師範學校卒業 同 女 二人

試驗檢定 同 女 二人

高等師範學校卒業 雇任男 一人

教員ノ需要供給等 本年中二名ノ更迭アリ補充上稍困難ナシ

タリ待遇ハ厚ガラサルモ亦薄シセス

生徒訓育 當地方固有ナル質素柔順ノ美風保存ニ勉ムルト共ニ

更ニ向上ノ意氣ト他人ニ對スル同情ト懲りト培養セシコト

为期シ修養勤勞ノ二要綱ナシ定メ又規律フ肅整校風ノ統一圖

ル爲校歌ヲ作リ制服ヲ定メ清潔規程ヲ設ケ又每朝全校生徒合

同體操ヲ行ヒ一面毎學期數回級會ナ催シ談話運動遊戯ヲ共ニ

セシメダル

生徒學業ノ進否 生徒ノ學業ハ學校組織當年ガル未以云前年等

ニ比較スヘカラサルモ成績良好ナリ

入學志願者ニ關スル狀況 入學志願者ハ從前ノ在學者本科九十

三名ナシ併テ百八十九名ニ上り選科生ハ從來ノ生徒三十二名ナ

併セテ五十名アリ

入學者父兄ノ職業別 次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
本科第一學年	16	6	27	7	—	56
第二學年	20	2	19	10	1	52
第三學年	10	5	11	9	6	41
第四學年	7	5	11	7	1	31
計	53	18	68	33	8	180
選科第一學年	5	1	2	—	1	9
第二學年	13	5	6	1	—	25
第三學年	7	3	2	1	1	14
計	25	9	10	2	2	48

## 實業學校

## 縣立福井農林學校

學校ノ設備 寄宿舍一棟ノ新築及食堂浴室ノ新築ハ本年度中竣

功シ從來ノ食堂其ノ他ノ附屬建物ハ農產及林產製造室ニ改築

利用シ其ノ工事落成亦將ニ近キニアラントス又從來ノ生徒控

室及雞舍等ハ既ニ移築ナシ養蠶寄宿舍及實習作業室等ハ目

下工事申ナリ

演習林小屋ハ大正三年四月大野郡平泉寺村地籍内ニ演習林ノ

造設ト同時ニ建築シタルモノナルガ狹陥隘ヲ感シ目下増築工事中ナリ

教授用具器械及標本等ハ必要ニ應シ年々多少購入ズルモ物價ノ昂騰ニ依リ意ノ如ク設備チ十分ナラシムルヲ得ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ専任男十二人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者 專任二人兼任一人  
文部大臣ノ指定シタル者 專任十人

教員ノ需要供給等 年度末教員現在數ハ正教員十二人無資格二人 兼務有資格一入無資格六人ニシテ新任二入他ヘソ轉任三人アリ 正教員中舍監加俸ヲ受ケル者四人外ニ無資格教員ニシテ舍監手當ヲ受ケル者一人アリ 待遇ニ關シテハ豫算ノ範圍内ニ於テ成ルヘク之ヲ厚クスルモ常ニ一人若ハ二人ノ缺員ヲ生シ補充上困難ヲ感スルノ狀態ナリ

生徒ノ訓育 教員ヲシテ實踐躬行ヲ以テ生徒ヲ率ヒシテ生徒手帖ノ設ケ級主任 通學生監督 寄宿舍監督 級長副級長 舍長週番炊事係等ヲ置キ又補助機關トシテ農友會級會共同販賣部ナ設置シアル等總テ從前ニ異ナル所ナク以テ勤儉力行農林業者トシテ適當ナル人物タラシムシコドニ勉め居レ

生徒學業ノ進否 本年度ニ於テ落第者十一名ナ出シタルモ多クハ病氣又ハ缺席等ヲ爲學業ニ影響ナ及ボシタルモノナリ

生徒實習及修學旅行 実習・學科修了後毎日二時間ヲ實習ヲ課スルヲ定例トシテ職員率先シテ指導説教シ生徒亦熱心ニ從事ス

修學旅行 第四學年四十三名ハ六月六日ヨリ八日間ナ以テ東京京都大阪ノ三府及長野福木神奈川靜岡愛知三重奈良ハ七縣ノ旅行シ又全學年生徒中百五十名ハ二月十三日ナ以テ吉田郡志比谷村方面ニ旅行シ平水寺ニ一泊シタリ

入學志願者ニ關スル狀況 募集人員百名ニ對シ入學志願者百九名アリ 大正元年以來入學志願者ノ平均數ハ百三名ニシテ著シキ增加ノ傾向ヲ認メス思フニ其ノ原因種々アルヘキナ以テ之ニ關シテハ目下研究中ナリ

學校ト實業界トノ關係 各地ニ於テ開催スル農產品評會等ニハ成ルヘク本校職員ヲ派遣シテ審査ノ任ニ當ラシメ又ハ農事講話ヲ爲シ或ハ果樹園ノ開設 造林 病蟲害ノ防除 牛馬耕人傳習ヲ爲ス等一般農業家ノ利益ヲ圖レリ

倘本年度ニ於テ全國優良農具ヲ蒐集シ以テ斯界一般ニ紹介シ普及ヲ圖ル目的ヲ以テ十一月中校内ニ農藝會ヲ開キタリ出品點數二百六十點内農具五十點園藝器具百二十四點出品人員七十九名ニシテ觀覽人六千六十二人ヲ算セリ而シテ出品物ハ斯道専門家ニ審査ヲ委託シ優秀者五十一名ニ對シ褒賞狀ヲ授與シタリ此ノ企てハ本校創立以來初回ノ試ミニシテ一般當業者ヲ益シタルハコト尠カカラス

### 縣立小濱水產學校

學校ノ設備 本年度ニ於テハ漁業實習用ドシテ漁船雲龍丸(十九噸)セミディセル式輕油發動機三十馬力ヲ具フルモノヲ新造シ多大ノ便宜ヲ得タリ

學校ノ資格別 有資格教員ハ専任男八人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者

専任一人

文部大臣ノ指定シタル者

専任五人兼任一人

文部大臣ノ認可シタル者

専任二人

教員ノ需要供給勘定等 前年度末ヨリ缺員タリシ三名ノ教員ハ五月迄ニ之ヲ補充シ爾後ノ缺員モ直ニ補充スルヲ得タリ教員ノ待遇ニ關シテバ相當厚カラシメタリ

生徒訓育 時々ノ學校長訓話 學級主任ノ設置 寄宿舍ノ監督等從前三異ナラス

生徒學業ノ進否 生徒ニ對シテ時々課題ヲ與ベ又ハ水產狀況ヲ揭示シテ教授ノ補充ヲ圖リ尚學力劣等者ニ對シテハ擔任教員ミシテ補充教育ヲ施サシムルヲ以テ漸次進歩ノ跡チ見ルルを得

生徒實習及修學旅行

生徒實習 漁撈科生徒ミハ若越及丹後近海ニ於テ漁業及運用航海ノ練習ヲ爲シメ且夏季休暇ヲ利用シテ實習船ヲ島根山口ノ諸縣朝鮮釜山附近及福岡等ノ諸地方へ廻航シテ該地方ノ漁法漁具漁業經營等ニ就テ調査セシメ且運用航海ノ練習ヲ爲サシメタリ 製造養殖科生徒ハ校内ニ於テ普通實習ヲ爲シムル外大正八年九月三十日ヨリ十月十一日迄滋賀愛知靜岡神奈川東京長野新潟ノ各府縣へ觀察調査ヲ爲旅行ヲ爲サシメタリ

修學旅行 前項ノ外第二學年ハ五月八日ヨリ十日迄本科實習船永平丸ヲ宮津舞鶴ニ廻航セシメ八日ニハ京都府水產講習所及天ノ橋立九日ニハ軍港海兵團造船所及軍艦香取見學ヲ爲シ又第一學年ハ五月十日太飯郡加斗村ニ遠足旅行ヲ爲シ尙十月二十七日全科生徒遠敷郡久須夜ヶ嶽ニ登リ地理ヲ實查シタリ

入學志願者ニ關スル狀況 本年度ニ於テハ入學勸誘ヲ廢シタルモ尙五十名ノ募集ニ對六十餘名ノ志願者ヲ得タリ

學校ト實業界トノ關係 本年度ニ於テハ大阪郡内浦村ニ短期水產講習會ヲ開キ専門教員ヲ出張セシメ其他敦賀南條丹生等ノ各郡ヘモ教員ヲ派シ直接指導ヲ爲シ實業者トノ關係ヲ密接ナラシメタリ

### 縣立工業學校

學校ノ設備 校舍校地トモ前年ニ異ナガス將來設備ヲ要スルモノ尠ナカラシテ教授管理支障ヲ見ス

教員ノ資格別 専任七人兼任二人皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ノ需要ハ年々之ヲ増スモ供給意ノ如クナラス翻モスレハ缺員ナ生セントスルノ虞アリ本年度中休職トナリタル者一名退職シタル者二名死亡一名ニシテ新任五名ナリ俸給ハ最高年額千五百圓最低年額參拾五圓ニシテ平均月額五拾圓七拾錢ナリ加俸ハ舍監勤務者ニ對シテハ月額四圓ノ加俸アルノミ未タ年功加俸ノ制定ナシ

生徒訓育 學級主任ニ定メ生徒通知簿ヲ設ケ級長副級長ヲ置キ又家庭トノ聯絡ヲ圖リ其ノ他工友會ヲ組織シ講演會運動會ヲ開催スル等訓育ニ注意セシムコト前年ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 本學年ニ於テ第三回卒業生二十名ナ出シ

シタル者本科五十名、豫科卒業者三十四名、豫科進級四十名、ニシテ原級三止マリタル者本科四名豫科六名ナリ。

#### 生徒實習及修學旅行

生徒實習 各學年ヲ二組ニ分チ半學期更替ヲ以テ染色機織ノ實習ヲ爲サシメタルコト前年ニ同シ。

修學旅行 五月一日ヨリ三日間本科各學年生徒ヲ京都ニ五月

三日豫科生ヲ坂井郡吉崎北潟方面ニ十月二十四日ヨリ五日

間本科第三學年生ヲ名古屋山田・大津方面ニ十月二十四日

ヨリ二日間本科第一二學年生ヲ若州小濱ニ十月二十五日豫

科生ヲ石川縣那谷山代大型寺方面ニ旅行ヲ爲サシメタリ。

入學志願者ニ關スル狀況 本年度入學志願者三百五人ニシテ入

學試験ニ應シタル者二百四十三名其ノ内入學ヲ許可シタル者

四十七名ナリ。

學校ト實業界トノ關係 染織實地指導、爲本校職員ヲ派遣シ或ハ講習會ヲ開催シ若ハ生徒實習ノ狀況製品ノ鑑覽ニ一般ニ許ス等學業ノ獎勵ト產業ノ發達ニ注意シ又職工徒弟等ノ爲春秋二回毎回三箇月夜間講習ヲ爲シ講習生百六十一人中四十五人ノ修了者ヲ出シタリ。

#### 縣立敦賀商業學校

學校ノ設備 講堂ハ本年三月ヲ以テ落成シ六百人ヲ容ルル三足  
ル又寄宿舍モ三月ヲ以テ竣工セリ。

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任七人兼任一人ニシテ文部大臣ノ指定シタル者專任六人兼任一人文部大臣ノ認可シタル者専任一人ナリ。

教員ノ需要供給等 有資格教員ヲ得ルト一時困難ニシテ無資格者ヲ以テ補フソ已ムヲ得サル狀況ナリシカ商業英語等ノ教員ノ如キ缺員ヲ儘ニ過コシタリ尤本年度新ニ任用シタル教員ハ有資格二人無資格四人ナリ。

生徒訓育 學業ヲ研究ニ力ヲ注クト同時ニ體育ニモ意ヲ用非  
德育ニ於テも修身科教授ヲ中心トシテ學校長之ニ當リ各級主任教員之ノ實踐ヲ督勵シ生徒ノ勤怠ニ對シテハ特ニ注意セリ  
又外人接待ニ關シテ常に遺憾ナルヲ以テ之ニ留意シ指導セリ。

生徒學業ノ進否 生徒總平均點ハ七十六點二分ニシテ前年ニ比  
シ二分ノ進歩ヲ認ム本校ハ露語教授ニ於テ特色ヲ有シ且英語  
ヲモ課ズルカ故ニ他校生徒ニ比シ一段ノ重荷タリ。

#### 生徒實習及修學旅行

生徒實習 最上級ニ於テハ内外商業實踐ヲ課シ同時同業法ニ  
依ラシメ商家ノ子弟ハ勉メテ家事自習ヲ爲サシムルモ當地ニハ稅關支署小船會社ノ外實習ニ利用シ得ル商社工場ナキハ甚タ遺憾ナリ。

修學旅行 本科第四學年專修科生ハ夏期休業中凡二週間西北利亞地方ニ旅行セリ旅費一部ハ之ヲ補助シタリ又本科第三學年ハ京阪地方本科第一、二學年ハ縣内ニ旅行セリ。

入學志願者ニ關スル狀況 入學志願者ハ英語部第一學年六十七名ニシテ其ノ内三十二名ハ本校豫科修了者ナリ此ノ豫科修了者ノ外入學ヲ許可シタル者十六名、露語部ハ百二名ノ志願者

アリ五十六名ノ入學ヲ許可シタルカ日露貿易專修科ニ在リテハ全國ニ亘リテ入學ヲ勧誘シタルニ拘ラス志願者僅ニ寡集員

數ニ達シタルノミニシテ入學ノ期ニ至リテハ不參其ノ他ノ事  
故者多ク實際ニ過キス

學校ト實業界トノ關係 本校職員ハ各種實業團體ニ參加シ意見ヲ開陳シ又實業者ハ學校ニ來リ所見ヲ披瀝スル者多ク尚西北利亞方面ニ渡航スル名士實業者等本校講堂ニ於テ講演ヲ爲スモノ尠ナガラススケノ如クニシテ内外ニ面識ヲ有スルノ人頗ル多シ。

#### 市立福井商業學校

學校ノ設備 校舍増築及模様替等ヲ爲シ設備哈ト完成セリ  
教員ノ資格別 有資格教員ハ專任八人兼任一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ外ニ豫科ノ教員三人アリ師範學校卒業者ナリ。

教員ノ勤續補充等 教員ノ勤續年齡ハ教諭七人ハ五年未滿教諭一人ハ十年未滿、校長兼教諭一人ハ二十年未滿ニシテ本年度ノ新任教諭一人他ヨリ轉任シ來リタル教諭三人アリ俸給平均額ハ教諭五十四圓六錢ナリ。

生徒訓育 商業家トシテ必要ナル道德ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スル爲生徒監學級主任ナ置キ又學校ト家庭トノ連絡方法トシテ家庭訪問保證人招喚、父兄談話會ノ開會、通告簿ノ設備生徒心得ノ携帶等總テ前年ニ異ナラス。

生徒學業ノ進否 生徒學業ノ成績ハ一般ニ前年度ニ比シ進歩傾向ヲ示シ卒業生ノ如キモ實業社會ノ信用厚ク過半ハ各種ノ會社商店ニ採用セラシタリ。

#### 生徒實習及修學旅行

實習 内國商業ニ於テハ從來ノ如ク書類手形等ノ取扱帳簿通  
信書類等ノ整理ニ至ル迄ノ詳細ガル手續ヲ教授シ之ニ實際的方面ヲ加味シテ銀行鐵道海上運送保險通信其ノ他個人ノ商業上使用スベキ諸般ノ施設ヲ利用シ以テ平素修得セル智識ヲ應用セシメ又外國商業ニ於テハ往復文書電報其ノ他各種ノ書式ヲ作成セシメ以テ英文ノ研究ヲ爲サシムル共ニ英文ニ於ケル商習慣ノ大要ヲ知ラシムルコトニ勉メタリ。

修學旅行 本科第三學年生ハ長野東京横濱倉ニ江島靜岡地方ニ第二學年生ハ京阪神地方ニ修學旅行ヲ爲サタリ  
入學志願者ニ關スル狀況 福井市及足羽吉田坂井等附近ノ各郡ナ始メ越前國中敦賀郡ヲ除クノ外尠ナカラサル入學志願者アリ其ノ數四百七十二名ニ上リタルガ其ノ内百六名ノ入學ヲ許可シタリ。

學校ト實業界トノ關係 前ニ記述シタル如ク卒業者ハ何レモ實業界ニ出テ、成績良好ナルヲ以テ一般商業教育ノ必要ヲ認ムモノ多シ。

#### 坂井郡立農學校

學校ノ設備 特別教授ニ關スル設備就中養蠶實習等ノ如キ設備ハ不完全ニシテ遺憾トスル所ナガリ二年中ニ完成セシムル見込ナリ。

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任二名兼任一名ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ。

教員ノ需要供給等 創立當時ハ有資格者ヲ得ルニ困難ヲ感シタ

ルも現今相當ノ資格者ヲ得タリ待遇ニ至リテハ他ニ比シ遜色ナシ

生徒訓育 生徒ハ一般郡内中產農家ノ子弟ナルヲ以テ卒業後ハ家庭農事ニ從事シテ堅實ナル農村ヲ經營セシムルニ勉メ居シリ

生徒學業ノ進否 創立後三年ニシテ本年度初メテ卒業者ヲ出シタルカ成績ハ相當佳良ナリ

生徒實習及修學旅行

普通作物ノ栽培ヲ主トシ養蠶養雞ノ實習モ之ヲ加設セリ又修學旅行トシテハ第一學年ハ桃山參拜第二學年ハ伊勢參拜ヲ爲シ同地方ノ實業ヲ視察見學セシメタリ

入學志願者 入學志願者ハ豫期ハ人員ニ達セス全ク創設當初ニシテ該校ノ實際價值ヲ認メサル結果ナルベシ故ニ卒業生チ出シ地方ノ實業ニ從事スル者增加スルニ從フテ漸次增加すべき見込ナリ

學校ト實業界トノ關係 郡農會郡役所勸業係トノ連絡ヲ密ニシ就中學校長ヲ郡農業技師ニ郡農業技師ニ農學校教諭ニ兼任セシメテ當業者トノ連絡ヲ計リ居レリ

## 今立郡立農學校

學校ノ設備 累々設備完成シ教授管理支障ナシ  
教員ノ資格別 有資格教員ハ專任四人兼任一人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ノ聘用ニ就テハ相當苦心スル所アリ其ノ待遇も郡經濟ノ許ス限り之ヲ厚クシメタリ

生徒訓育 勤勉質素ヲ旨トシ勞動ニ堪ヘ堅實ナル農村ノ維持者トシテ必要ナル性格ヲ養成スルコトニ訓育セリ

生徒學業ノ進否 本校教授ノ方針ハ實物實際ニ研究ヲ遂ケシメント期シ生徒モ熱心ニ學習スルヲ以テ逐日進歩ノ實チ舉居シリ

生徒實習及修學旅行

第三學年生ニハ水稻ノ競争栽培ヲ課シ各自同一面積二十五歩ノ場所ニ同品種ヲ栽培モシテ其ノ成績ヲ査定シ慶賞ヲ與ヘ

蔬菜園ノ實習ハ擔當區ヲ設ケ教員指導ノ下ニ栽培セシメタリ

春蠶ハ第三學年生ニ夏蠶ハ第二學年生ニ飼育セシメタリ

夏期休暇中第三學年第一學年ハ交代登校シテ水田蔬菜園ノ實習ニ第二學年生ハ養蠶實習ニ當ラシメタリ又山地ヲ開墾シテ果樹園ヲ爲シ其ノ間作ニ莊ヲ栽培シ果樹ノ幼稚カル間相當收益ヲ得ルコト期シタリ

修學旅行トシテハ聯誼生徒八十二名石川種馬所ニ又七十三名ノ教賀港ニ 第三學年生二十六名ハ京都伏見桃山奈良伊勢名古屋等ヲ巡回シタリ

入學志願者 近時商工業界ノ好景氣ニヨリ商工業ニ關スル學校ヲ希望スル者多シ隨テ本校ノ如キハ志願者漸々減少ノ傾アリ依テ郡役所學校ノ職員ハ勿論各小學校職員ト協力勸誘シタル結果募集豫定ノ八分即チ三十九名ノ志願者ヲ得タリ

學校ト實業界トノ關係 校長職員ハ各村農業講話會講習會等ノ講師トナリ或々品評會ノ審査長若ハ審査員ナリ當業者トノ連絡ヲ保テアリ又小學校職員ト共ニ毎月一回農業教育研

究會ヲ開催シ率先本郡農業教育ノ實績ヲ擧ケ居レリ

## 坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 校地校舍等前年三異ナラス圖書器械標本等ハ漸次購入スルヂ以テ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人女二人兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ノ待遇ハ相當ニシテ前年來異動ナシ

生徒訓育 本校ハ徒弟學校トシテ設置シタルモノナレトモ其ノ內容ハ郡内中流家庭ノ主婦タルヘキモノヲ養成スルノ目的ヲ以テ教育ヲ勞働ヲ厭ハヌ雜務ヲ嫌ハス潔潔整頓ニ注意シ節約利用ヲ圖ルノ習慣ヲ養フニ勉メ隨時講堂訓詁ニ際シテ之ヲ訓授スルハ勿論實習ニハ教師自ラ勞役ニ服シ範ヲ示シ居レリ

生徒學業ノ進否 學科衛科共ニ漸次進歩セリ

生徒實習及修學旅行

教室内ニ於テハ裁縫手藝ノ實習ヲ行フハ勿論ニシテ桑園蔬菜圃ニ於ケル農事養蠶室ニ於ケル飼育炊事場ニ於ケル割烹ノ三種ニ就テ實習ヲ爲シム

修學旅行トシテハ近郊又ハ縣内ニ出テタルニ過キス

學校ト家庭トノ連絡 每年一回以上保護者懇談會ヲ催シ保護者ニ對シ學校ノ教育方針ヲ説明シ保護者ノ意見ヲ聽取スルヲ例トス又毎年春秋二回同懇會ヲ開キ舊交ヲ温メ裁縫手藝品等ニ關シ協議シ家庭トノ連絡ヲ圖レリ

## 實業補習學校

實業補習學校ハ工業二、農業百四十六(外三分教場十)、水產四、商業二、其他四十六(商船ホシ)ニシテ前年ニ比シ農業十四、商業ニ減シ水產一、其他二ニ増シ又分教場二ヲ増シタリ

補習學校ハ每年記述セル如ク小學校若ハ其ノ他ノ學校ニ附設スルモノガルヂ以テ何ソモ小學校又ハ其ノ他ノ學校校舍器具等ヲ使用フルモノ多ク稀ニハ寺院又ハ大字共有ノ建物ヲ使用スルノ故ニ概シテ設備缺ケル所ナク教員亦治ト小學校教員ノ兼任ナリ教授時季ハ農閑ヲ利用シ若ハ夜間ニ於テフルモノ多シ實習ハ生徒各自家庭ニ於テ其ノ業ニ從事スルヲ以テ學校ニ於テ之ヲ課スルノ必要ヲ認メサルモ尙青年會青年團體等ノ事業タル蔬菜園果樹園及水田等ヲ共同試作スルモノアリ或ヘ郡農會技手及郡技手ヲシテ學校ヲ巡回シ養蠶畜產林業其ノ他ノ農事指導ヲ爲シタルモノアリ一般實業界ニ於テモ實業教育ノ必要ヲ認メ居レリ

## 各種學校

小學校ニ類スルモノ、市立一町村立五(外休校二)アリ多クハ市町村立小學校内ニ設置セラレ教員亦小學校教員ノ兼務スル者多數ナシハ教授管理支障ヲ見ス學科ハ織子裁縫家事修身國語等ナリ

高等女學校ニ類スルモノ、私立アリ仁愛女學校ト稱シ明治三十一年四月ノ創立ニ係リ修業年限四年ノ本科、同一年ノ補習科ヲ置キ本科ニハ尋常小學校卒業程度ノモノナ入学セシム相

當ノ教室及附屬建物ヲ有シ設備哈ト完成セルモ運動場狹隘ナルヲ遺憾トス學科ハ修身地理日本歴史算術圖畫等何レモ高等女學校用教科書ヲ用井相當ノ教師ナシテ教授セシメ裁縫家事ハ其ノ智識技能アル教師ナ選ヒ又手藝茶饌生花ハ隨意科トシテ課ス教授時數授時間ノ終始等殆ト高等女學校ニ準シ修身及裁縫ニ一層重キヲ置ケリ學校維持ニハ寄附金授業料及縣獎勵交附金等ニ依レリ

其ノ他ノ各種學校 私立二校アリ次ノ如シ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校内ニ設ケラレ同校生徒中志願者ニ限り佛教ヲ授ケル所ニシテ教場其ノ他ハ中學校ヲ使用スルヲ以テ何等ノ支障ナ見ス教授ハ佛教ノ一般智識ヲ修得セシムルニアリテ宗乘科ハ聖典ノ原文ヲ使用シ素讀通解ナ授ケ餘乘科ハ佛教ノ要旨三國佛教史各宗綱要ヲ修得セシム各科略々答案又ハ教場使用ノ筆記帳等ヲ提出セシメ應用力理解力ノ増進ニ勉メ第四五兩學年生ヲ福井市内寺院ニ就テ法式及布教ノ實習ヲ爲サシム

私立福井英語學校 本校ハ米國宣教團ノ設立スル所ニシテ校舍バ福井市内福井聖三一教堂ナ以テ之ニ充テ基督教理ニ基ケル倫理ヲ講シ英語ヲ授ケ學校維持方法ハ日本聖公會傳道局補助金及授業料ニ依レリ

## 學 校 衛 生

清潔法施行 各學校ニ於テハ日常掃除ヲ行ヒ每季若ハ春秋二回大掃除ヲ爲スコト從前ニ從ナラス本年度ニ在リテ流行性感冒流行シタルヲ以テ清潔消毒上大ニ注意シタリ

學校醫視察 師範學校中學校高等女學校甲乙種實業學校等ニ在リテハ年數回學校醫ノ視察アリ或ハ衛生講話ヲ爲スモ小學校ニ在リテハ年一回兒童身體檢查ヲ行フニ止マムモ多シ然レドモ本縣學校衛生主事ハ時々學校ヲ視察シ指導ヲ爲シタルゴト前年ノ如シ

學校醫ノ資格別 學校醫ハ總テ百五十人アリ其ノ資格別ヲ擧クレハ左ノ如シ

帝國大學醫科大學卒業 七人

元東京大學醫學部醫學科別科並選科卒業 二人

東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科卒業 五人

官立醫學専門學校醫學部元高等學校及高等中學校醫學部醫學科卒業 八十三人

府縣立學校卒業 七人

醫術開業試驗及第 四十六人

生徒兒童ノ健康 一般生徒兒童ノ健康狀態ヘ良好ナリ

傳染病豫防及消毒 傳染病豫防ニ就テハ常ニ注意ヲ怠ラス本年一月ニ至リ又復流行性感冒ヲ處々ニ發生シ職員生徒兒童中之ニ罹リタル者多少有リタルモ或ハ消毒ヲ爲シ或ハ豫防接種等ヲ行ヒ幸ニシテ蔓延ニ至ラサリキ

## 學校園學林及樹栽

師範學校學校園ハ明治四十二年東宮殿下行啓記念トシテ設ケタル有終園及濟美園ニハ果樹及花卉ヲ栽培シ發育良好ナリ學林ノ管理ハ職員及生徒ヲシテ之ヲ爲サシメ生育ニ努メタリ又御大典

記念ノ松樹及櫻樹ハ十月火災ノ爲焼失シタルヲ遺憾ナリ福井中學校へ財團法人福井中學校學林會ヲ組織シ植林經營ヲ爲スコト從來ノ如シ大野武生小濱北陸ノ各中學校及高等女學校實業學校モ皆相當ノ學校園又ハ學林ヲ有セサルナク何レモ除草栽培等ハ等ニ在リテ教員生徒ニ於テ之ヲ爲スコト從來ニ異ナラス其ノ他小學校ニ在リテモ學校園ヲ設ケルモノ多ク殊ニ山間部ニ於ケル學校ハ學林ヲ設置シ或ハ學校基本財產蓄積ノ目的ヲ以テ植林ヲ行フモノアリ

## 教員檢定及免許狀授與

小學校教員無試驗檢定ハ隨時之ヲ施行シ試驗檢定ハ定期八月中旬福井市及坂井郡三國町大野郡大野町遠敷郡小濱町ノ四箇所ニ於テ之ヲ行ヒタリ又各郡ニ於ケル尋常小學校准教員養成所修了者ニ對シテハ臨時試驗檢定ヲ行ヘリ本年度檢定總人員ハ男二百五人女百五十三人ニシテ檢定合格者男百二十三人女百二十一人ナリ同合格者及師範學校卒業者ヲ併セ男二百八人女百七十三人ニ對シ教員免許狀ヲ授與シタリ

## 教 員 講 話

各郡ニ於テハ郡教育會ノ事業トシテハ小學校教員講習會ヲ開キタルモノ多シ講習日數ハ概モ五日以内ニシテ理科地理體操法制經濟教育學教授法及時代思潮ニ關スル件等ヲ講習セリ

## 教 科 用 圖 書

中等教育教科用圖書ハ何レモ適當ナリ又小學校教科用圖書ハ從前ノ如ク多少ノ遲著ヲ免レサルヲ遺憾トス

## 圖 書 館

圖書館ハ市立郡立村立各一、私立十七アリ前年ニ比シ増減ナシ市立福井圖書館ハ職員三人ヲ置キ専ラ圖書ノ整理閲覽等ノ庶務ニ從事シ諸般ノ設備整頓セリ本年度開館日數二百九十六日ニシテ閲覽人員一萬八千三百十七人ニ上レリ今其ノ圖書ヲ種別スレハ次ノ如シ

	閱覽圖書	閱覽人員		閱覽圖書	閱覽人員
宗教哲學	373	566	理化學業書	298	682
法政經濟	79	936	實業書	144	249
文學	1,109	6,887	辭書	69	177
語學	15	28	雜書	2,158	3,466
史學	535	888	雜誌其他	239	4,019
美術文學	11	12			
地理	182	247	計	5,252	18,217

又閱覽人員ヲ職業別ニスレハ次ノ如シ

學生	5,773	公吏	11	商業	465
僧侶	44	會社員	176	教員	143
農業	193	工業	109	官吏	151
新聞雜誌記者	31	巡査	1	辯護士	1
軍人	4	醫師	7	藥劑師	7
鐵道驕員	24	郵便局員	7	雜業	10,060
無職	1,910	計	18,217		

郡立三方圖書館ハ巡回文庫ノ方法ニ依リ書庫七箇ヲ以テ期間ヲ

定メ郡内各村ニ回付シ學校長ヲ管理者トシ更ニ各村ニ在リテハ、村教育會又ハ村青年會ノ事業トシテ圖書閱覽所ヲ設ケ順次循環セシメテ公衆ノ閲覽キ供ス之ヲ甲種ト稱ス乙種トシテハ各村ノ理髮店一箇所ヲ指定シテ閲覽所ト爲シ公衆ナシテ少時間ヲ利用シテ閲覽セシムル爲専近ナル小冊子ヲ収容シタル書庫ヲ遞次配置ス俄郡農會事務所ニ閲覽室ヲ設ケ自由ニ圖書ヲ閲覽シ得ルノ便ヲ開キ閲覽ヲ獎勵セルコト從來ノ如シ。

私立小濱圖書館ハ小濱町教育會ノ施設ニ係リ小濱尋常高等小學校内ニ置カル本館及巡回ノ二方法ニ依リ閲覽セシム本館ニ於ケル閲覽人ハ小學校教員兒童其ノ他地方青年者ニシテ巡回文庫ハ床屋湯屋旅宿等十數箇所ヲ巡回セシメ專ラ實用ヲ旨トシテ閲覽セシタルモ閲覽ノ人員閲覽圖書ノ種類別ハ調査シタルモノ入力シ。

### 小學校教員養成

本年度ニ於テハ尋常小學校准教員養成所ヲ開キタルモノ吉田坂井大野今立丹生南條三方遠敷大飯ノ九郡ニ及ヘリ。

### 教育會

各郡市ニ私立各都市教育會ヲ設ク其ノ數十二アリ會員一万有餘人ニ上り私立福井縣教育會ハ都市教育會ノ聯合組織ニシテ別ニ會員ナ有セス又市ニハ學區毎ニ私立教育會ヲ組織シ町村ニ於テハ私立町村教育會ヲ設ケルモノ多ク會員數萬人ヲ算スヘシ此等教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査小學校教員ノ講習教育學術ニ關スル講話學齡兒童ノ保護就學ノ獎勵學事視察圖書館及通俗博物館ノ經營機關雜誌ノ發刊ヲ爲ス等教育上裨益スル所歎ナカラズ殊ニ福井縣教育會ハ大正二年以來訓盲學舍ヲ設ケ盲人教育ヲ施シ居レリ。

又運動趣味ヲ普及シ體育尊重ノ精神ヲ振興セシメ體力氣力ヲ増進セシムルノ目的以テ若越體育大會ヲ開キタリ其ノ陸上部ハ十一月十四日福井市公開運動場ニ於テ之ヲ催シ競技者千七百名ニ上リタリ水上部ハ都合三依リ之ヲ開カス。

### 青年團及處女會

青年團ハ縣下各市町村ニ於テ組織セラレ其ノ一市町村内數部ニ分ビタルモノハ之ヲ一市町村ニ統一シ更ニ各町村青年團體ヲ聯合シテ鄉青年團體ヲ組織ス町村青年團數百八十八鄉市青年團數十二ニシテ團員ノ數二萬六千百六十餘名ナリ。青年團ノ事業トシテハ時々講話會講習會ヲ開キ或ハ補習教育ヲ受ケ擊劍競技視察旅行等ヲ行ヒ體育ヲ進メ又ハ共同耕作植樹道路修繕等實業的公共の事業ヲ務メ若ハ援助スル等從前ノ如シ。

處女會モ亦各町村漸ク之ヲ組織シ其ノ數八十二及ヒ會員數七千餘人ニ達シタリ事業トシテハ講話會補習教育講習會教老會等ヲ實行シタリ。

### 縣會郡會及市町村會

縣會郡會及市町村會何レモ教育費等學事ニ關スル議事ニ就テハ不當ノ決議ヲ爲スゴトナク概シテ平穏ガリ。

### 學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官(教育課長)一人縣視學二人屬二人雇二人學校衛生主事一人同雇一人社會教育主事一人アリ。

郡役所ニ在リテハ郡視學一人教育事務ノ課長ヲ兼ネ其ノ課員ハ郡書記又ハ雇ノ内一人者ハ二人ヲ置キ市役所ニハ市書記一人市書記補一人町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ置キ事務ヲ處理ス尚市町村ニ於テハ區長及學務委員ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト從來ニ異ナラス。

學事統計事務ハ一般統計事務擔任ノ屬ヲシテ分掌セシムルコト十數年ニ及ヒ且近來郡役所ニ在リテモ一般統計事務擔任者ニ於テ處理スルモノ漸ク多キヲ見ルニ至レリ。

內務部長及視學官ハ多クハ他ノ用務ノ傍ラ學校ヲ巡視シ又ハ郡市教育會等ニ臨席シテ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリ縣視學ハ縣内小學校等ヲ巡回スルコト延日數百十日ニ及ヒ其ノ他通俗講話會等ニ出張シタルコト若干アリ。

學校衛生主事ハ時々各學校ヲ視察シ衛生ニ關スル注意ヲ爲シ又職員生徒兒童等ノ身體檢查ヲ行ヒタリ其ノ延日數八十七日ナリ社會教育主事ハ本年度九月ヨリ之ヲ置ケ爾後青年會處女會通俗講話會等ニ出席シタルコト六十五回ナリ。

### 學事獎勵

郡市立私立中等教育等ノ諸學校及縣教育會等ニハ本縣ヨリ補助金ヲ交附シ小學校教員住宅建設ニ對シテモ相當補助金ヲ與ヘテ獎勵シ又實業補習教育ニモ相當ノ條件ヲ具備スルモノニ對シ縣補助金ヲ交附セリ師範學校中學校中學校高等女學校實業學校小學校等ニ於テハ其ノ生徒兒童中學術優等品行方正及精勤ヲ者ニハ賞與ヲ行ヒ又ハ製作生產品ノ品評會展覽會ヲ開キ或ハ貧困兒童ニ金品ヲ支給シ其ノ他青年會ニモ郡市町村ヨリ相當ノ補助ヲ爲シ通俗教育社會教育ノ發達ヲモ圖リタリ。

### 社會教育

本年九月ヨリ內務部教育課ニ社會教育主事一名ヲ置キ社會教育ニ關スル事ヲ掌ラシムルコトハシタルガ郡市町村教育會青年會處女會及報德會斯民會等ノ設置漸次增加シ實績亦觀ルヘキモノアルニ至リ其ノ他圖書館巡回文庫公開運動場等ノ設置モ漸ク增加スルヲ見タリ。

教育會青年團處女會圖書館等ハ各別項ニ掲ゲタルカ如クナルカ尚圖書館令ニ依ラサル圖書閱覽所巡回文庫小學校ニ附設スルモノ五十有餘ニ達シタリ又公衆體育ヲ獎勵シタル結果町村體育會郡市體育會等ヲ組織的系統的ニ開催シテ體育ノ普及發達ヲ計ルヲ見ルニ至レリ。

### 將來學事施設上須要ノ件

將來學事ニ關シ施設ヲ要スルモノ尠ナカラサルカ中ニ就テ最須要ト認ムヘキモノハ前年掲ゲタルカ如ク次ノ諸項ナリトス。

1. 高等小學校ノ增設ヲ獎勵スルコト
1. 農業及理科等ノ學習ニ關スル設備完成ノコト
1. 體育ヲ徹底セシムルコト

## 公學費

大正八年度本縣及郡市町村公學費ノ梗概ヲ叙述スレハ次ノ如シ  
縣公學費總額ハ六拾貳萬九千四百參拾圓ニシテ經常費參拾九萬參千參百六拾圓臨時費拾參萬六千七拾圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費拾萬五千百七拾壹圓臨時費拾萬六千七百八拾七圓ナ増シタリ是レ職員ノ待遇ヲ厚クシ臨時手當ヲ給シタルヲ主トシ中學校師範學校罹災ノ爲新築ヲ要シタルト且一般物價ノ騰貴ニ由リ生シタルモノナリ前記總額ノ外小學校教員加俸及恩給ニ關スル支出額ヲ掲クレハ次ノ如シ

年功加俸	金四萬七千參百八圓
特別加俸	金六千貳百五拾九圓五拾錢
小學校教員住宅費補助	金四百參圓
退隱料	金參萬六千七百九拾五圓九錢
扶助料	金千八百七拾五圓九拾錢
扶助金	金七百八拾壹圓貳拾五錢
退職給與金	金五千壹圓七拾五錢

計 金九萬八千四百貳拾四圓四拾九錢

縣公學ニ關スル收入總額ハ九萬四千六百六拾壹圓ニシテ經常收入六萬九千九百五拾四圓、臨時收入四千七百圓、基本財產トシテノ收入壹萬貳千七百五拾圓教育資金ノ收入七千貳百五拾七圓ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ經常收入六拾圓臨時收入五萬千百參拾圓、基本財產トシテ收入六千九百拾七圓ナ減シメリ又教育資金ノ收入五拾圓ナ減シタリ以上ノ如ク臨時收入ニ於テ巨額ナ減シタルハ寄附金ノ收入ナキト國庫補助ノ少額ナリシニ由ル尙前記總收入ノ外小學校教員加俸資金及小學教員恩給ニ關スル收入額ヲ掲クレハ次ノ如シ

加俸資金收入	
國庫補助	金貳萬六千八百四拾參圓四拾壹錢
資金利子	金千七百拾四圓貳拾貳錢

恩給ニ關スル收入	
市町村納金	金五千七百九拾六圓四拾六錢
恩給基金利子	金貳千七百六拾八圓七拾五錢
國庫給與金	金貳千百四拾壹圓五拾五錢

郡公學費總額ハ七萬貳千貳百七圓ニシテ經常費五萬四千貳五百拾四圓臨時費壹萬七千九百五拾圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費貳萬千七拾五圓ナ增シ臨時費壹萬千參拾六圓ナ減シタルハ職員手當ヲ贈給シタルト教價騰貴ニ基因ヌルハ勿論ナルカ小濱女子技藝學校ヲ實科高等女學校ニ昇格セシタル等ノ爲經常費ノ増嵩ナ來シタルモ校舍新築ヲ要スルコト歎ナカリシナ以テ新營費ニ於テ減シタル結果ナリ

郡公學ニ關スル收入總額ハ壹萬八千四百貳圓ニシテ經常收入九千貳百八拾七圓臨時收入九千百拾五圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常收入參千八百六拾七圓臨時收入貳千拾五圓ナ增シタルハ授業料縣費補助等ニ於テ贈シタルニ由ル

市公學費總額ハ拾參萬五千七拾五圓ニシテ經常費拾貳萬九千九拾四圓臨時費六千壹圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費四萬貳千五百拾五圓ナ增シ臨時費五萬七千九百七拾九圓ナ減シタルハ職員臨時手當贈給ト教價騰貴ニ因リ經常費ニ於テ著シク增加シタルモ學校ノ新築ヲ要セサリシニ因リ新營費ニ於テ大

ニ減シタルモノナリ

市公學ニ屬スル收入總額ハ四萬九千四百七拾四圓ニシテ前年ニ比シ壹萬五千四拾圓ナ增シタルハ雜收入ニ於テ稀ナル收入アリシト其ノ他自然ノ增收ニ由ルモノナリ

町村公學費總額ハ八百四拾七千貳百拾六圓ニシテ經常費百貳拾四萬六千貳百六拾六圓臨時費貳拾貳萬四千九百五拾圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費四拾萬六千七百七拾圓臨時費九萬六千九百九拾圓ナ増加シタルハ職員ノ臨時手當贈給ト物價ノ騰貴及校舍新築ヲ爲シタルモノ多カリシニ由ル

町村公學ニ屬スル收入總額ハ貳拾四萬參千六百參拾五圓ニシテ前年ニ比スルニ四萬八千八百拾八圓ナ增シタルハ寄附金ニ於テ著シ多カリシト其ノ他自然ノ增收ニ由ルモノナリ

## 公學資產

本年度末公學資產ハ前年度末ニ比シ多少增加セリ今其ノ現況ヲ叙述スレハ次ノ如シ

縣公學資產ハ土地六萬千五百參拾八坪建物一萬二千七百十九坪ニシテ其ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳拾四萬九千八百圓ニ上り前年ニ比シ價額ニ於テ四拾五萬七千六百五拾圓ナ増シタルハ價格ノ騰貴ト設備ノ整頓ニ由ルモ建物ニ於テハ師範學校ノ焼失ニ由リ却テ大ニ減シタリ

縣公學基本財產ハ金額參萬六千參百五拾八圓ニシテ外ニ本縣々費ヘ繰入申ノモノ十四萬八千四百四拾參圓、同様寃林費ヘ編入申ノモノ五萬九千七百四拾七圓ニ及フヲ以テ總額貳拾四萬四千五百四拾八圓ニ上り前年ニ比シ壹萬千參百八拾六圓ノ增加ナリトス

郡公學資產ハ土地六千九百二十四坪建物二千百六十七坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算フルトキハ價額九萬八千七百四拾圓ニ上り前年ニ比シ價額貳萬貳千九百九拾九圓ナ增シタリ但シ未タ基本財產ヲ有セス

市公學資產ハ土地壹萬六百二十八坪建物七千七十九坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額參萬七百拾五圓ニ上り前年ニ比シ價額五萬八百七拾七圓ナ增シタリ

市公學基本財產ハ現在金四千八百五拾七圓ニシテ前年ニ比シ千貳百八拾四圓ナ減シタリ

町村公學資產ハ土地拾四萬八百一坪建物八萬七千二百六十九坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額參萬五拾五萬參千貳百四拾六圓ニ上り前年ニ比シ五拾七萬九千八百拾貳圓ナ增シタリ

町村公學基本財產ハ現在金八萬九千貳百六拾圓土地其ノ他ノ價額拾參萬參千九百六拾八圓アリ前年ニ比シ金七萬參千八百貳拾七圓ナ減シ其ノ他ノ價額參萬七千八百壹圓ナ增シタリ金額ノ減シタルハ學校舍ノ建築ト物價ノ騰貴ニ由リ已ム得サル所ナリトス又積立金參萬千參百九拾七圓アリ前年ニ比シ參千貳百四拾六圓ナ增シタリ

公學基本財產蓄積ノ方法ハ縣立學校ニ在リテハ師範學校中學校高等女學校ハ明治三十六年度以後五十年間、實業學校ハ明治四十一年度以後四十五年間授業料其ノ他ノ収入ヲ之ニ充テ本年度ニ於テハ次ノ収入ヲ蓄積シタリ

授業料、手數料	収入ノ十分ノ一
生産品製作物	収入ノ十分ノ三
不用品賣却代	収入ノ全部
學資償還	同
基本財產利子	同
其ノ他基本財產ヨリ生スル收入	同
其ノ他市町村立各學校ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金等ヲ以テ基本財產ヲ蓄積シ又學校林等ヲ増設シ基本財產ニ編入スルコト從來ニ同シ	

學校維持ノ方法ハ主トシテ縣稅市町村稅ニ依リ其ノ他國庫補助及授業料寄附金雜收入等ヲ以テ之ヲ補フコト亦從來ニ異ナラズ

### 教育資金

本年度收入ノ資金利子參千六百七拾八圓五拾六錢貨附金返還壹萬五千八百八拾七圓八拾八錢國庫下附金參千五百七拾八圓貳拾錢前年度繰越金壹萬九千九百六拾九圓四拾九錢貳厘ニシテ小學校建築費ニ充ツル爲參千貳百圓ヲ町村ニ貸附シ小學校教員九人ヘ疾病療治料トシテ貳千貳拾貳圓支給シ學事獎勵ノ爲貳千六百拾七圓六拾壹錢ヲ支出シタリ學事獎勵支出ノ細別次ノ如シ

金五百圓	盲人教育獎勵交附
金參百圓	私立仁愛女學校ヘ交附
金貳百四拾九圓四錢	小學校教員八人表彰
金七百八拾八圓	學齡兒童保護團四十六團體ヘ交附
金參百八拾圓五拾七錢	小學校教員講習費
金貳百五拾圓	通俗教育費

金百五拾圓 教育雜誌編輯部ヘ交附

### 市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ハ教員中成績佳良ナル者ヲ選ヒ隨時ニ之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項若ハ第四項ノ場合ハ事實ノ發生シタル時直ニ同第二項第三項該當ノ場合ハ成績佳良ノ者ニ之ヲ給與シタリ

### 市町村立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ハ從來ト同シク住宅建築費ノ總額ニ對シ其ノ十分ノ四ヲ交附セリ本年度ニ於テ補助シタルモノ次ノ如シ

金四百參圓 丹生郡織田尋常高等小學校

### 義務教育費國庫交附金

市町村ニ於ケル義務教育費國庫交附金ノ收入ハ拾貳萬七千八百五拾參圓ニシテ其ノ支途ヲ區別スレハ次ノ如シ

市	金八千六百八拾貳圓	教員增俸ニ充ツ
町村	金拾壹萬九千百七拾壹圓	
内	金拾萬五千八百貳拾九圓	教員增俸ニ充ツ
	金貳千四百貳拾七圓	教育施設ノ改善ニ充ツ
	金壹萬九百拾五圓	住民負擔ノ輕減ニ充ツ

斯クリノ如ク國庫交附金ノ大部分ハ教員增俸ニ充テタリト雖間接ニ於テハ全額拾貳萬七千八百五拾參圓ハ之ヲ悉ク住民負擔ノ輕減ニ充テタリト謂フヲ得ヘシ

大正十年七月二十九日印刷

大正十年八月五日發行

# 福井縣

福井縣福井市佐佳枝中町百四十二番地

印刷者 吉木金藏

福井縣福井市佐佳枝中町百四十二番地

印刷所 大正印刷株式會社

